

# 東京庄原格致会会報

第30号

2022年9月

発行人・八谷英樹  
編集人・武廣巖  
印刷所・(株) クレスコアース  
コミュニケーションズ

## 三年ぶりにお会い できるのを楽しみに！

東京庄原格致会会長  
八谷英樹  
(昭和三十五年卒)



会員の皆様におかれましてはその後如何お過ごしでしょうか？二年余にわたるコロナの勢いにやや衰えが見えてきた感じもあります。皆様が無事に乗り越えられたことを願っております。

東京庄原格致会の活動もご多分に漏れずコロナのために二年連続の総会・懇親会の中止に追い込まれ活動休止を余儀なくされておりました。わずかに合間をぬっての役員会開催、囲碁同好会の月例会が開かれていた程度で、会員同士の交流もままならぬ状況が続いております。

ます。

さて、今回お手元にお届けする会報は三十号の節目を迎えることになりました。全面カラー版にして記念特集号としてページ数も四ページ増やして十六ページになっております。このような特別号を作成できたのは皆様からご寄付をいただくなど暖かいご支援のおかげと厚く御礼申し上げます。

記念号の内容は武廣事務局長を中心に編集委員で相談して、「母校の歴史」「東京庄原格致会の歩み」「庄原市の変遷」等となっております。これらのデータの収集に当たっては母校の橋本教頭先生、庄原市役所の皆様をはじめとして沢山の皆様のご協力をいただきました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

会報をお読みいただき感想やご意見、また今後への注文などを同封しております返信用はがきにお書き添え頂きたいだけとお願ひ致します。また、近況等もお書きいただければ総会出席者にお配りするとともに、ホームページへの掲載も考えたと思っております。

十月二十三日に予定している総会・懇親会は第40回を迎えます。

多くの皆さんとお会いできることを楽しみにしております。健康にご留意いただき元気にお過ごしください。  
(六月末日 記)

## 令和四年度

### 総会・懇親会のご案内

十月二十三日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催  
三年ぶりの総会・懇親会を、十月二十三日(日)に開催いたします。

母校の校長先生並びに本部同窓会会長などにも案内状を差し上げております。備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 令和四年十月二十三日(日)

(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間(お開きは一五時三十分を予定しております)

二、会場 主婦会館プラザエフ

(九階 スズランの間)

所在地 東京都千代田区

六番町十五番地

電話 〇三・三三六五・八一二一

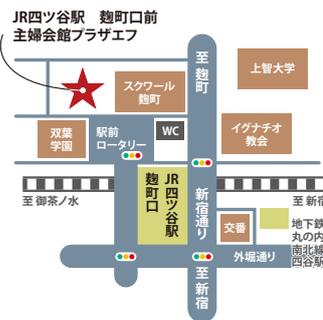
三、会費 八千円

(但し女性並びにご同伴の方は六千円)

※年会費(二千円)は、当日受付でも承ります

※コロナの感染状況等により中止する場合は、参加申込者には個別に連絡します。

### 総会・会場のご案内



主婦会館プラザエフ  
東京都千代田区六番町十五番地  
TEL. 03-3265-8111

- ・JR「四ツ谷駅」麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷駅」1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線「四ツ谷駅」3番出口(徒歩3分)

### 庄原格致高等学校校歌

【昭和二十七年制定】

柄松 香 作詞  
中村 哲二 作曲

- 一、仰げばとほき比婆山の  
霊峰いまに映しては  
鮎子さばしる西城川の  
清き姿をわれらはもたん
- 二、青垣こもる北吉備の  
乾坤とはに湛へては  
北斗たゆたふ上野の湖の  
深き心をわれらはもたん
- 三、格物致知の名に負へる  
伝統ともに挿頭しては  
紫にほふゆかりの旗の  
高き望をわれらはもたん

## 母校の伝統を守り 発展させていきます

校長 青本 眞二



日頃より同窓会の皆様方には本校の教育活動に御支援を賜り感謝申し上げます。格致高校3年目を迎えます校長の青本でございます。

格致高校は昨年度124年目を迎えました。生徒320名余りの生徒が部活動に、勉強に、生徒会活動に、学校行事に頑張ってくれた1年でした。新型コロナウイルス感染拡大にも関わらず6月の文化祭、9月の体育祭、球技大会、10月の修学旅行、2月の校内ロードレース大会とすべての行事を予定どおり実施しました。

都市部の学校では修学旅行を中止する学校もある中で、本校の今年の修学旅行は三重県の伊勢神宮、鳥羽水族館から南紀に下り、那智勝浦、那智の滝、潮岬、南紀白浜、和歌山マリーナホップと3泊4日で世界遺産や自然の景勝地などを訪ねることができました。

また、部活動は新型コロナウイルス感染拡大により制限の中ではありませんでしたが、多くの生徒が県総体に出場、中国大会にも2名の生徒が出場しました。学校行事、部活動は格致高校の重要な教育活動になっていきます。

百年誌に目を通してみますと、昭和26年（広島県比婆西高校）から学校行事の最大の行事である修学旅行が再開されました。部活動では昭和27年には女子バレー部の三次地区大会優勝、陸上部の優勝の記録がみられ、昭和28年は、卓球部の三次地区卓球大会での優勝、陸上部の三次地区優勝、比婆駅伝優勝の他、10月にはブラスバンド（吹奏楽）部が創設され今も続いているクリスマスマスコンサートも始まりました。昭和29年（広島県庄原高校）は陸上部の活躍が際立っており、庄原スター式駅伝優勝、三良坂駅伝優勝の他中国駅伝では5位に入賞しています。文化祭が3日間行われるなど校内の行事も活発になっていきました。

昭和30年代では、恒例の七塚原遠足が昭和30年に始まるとともに、文化祭は学園祭となりさらに盛大に広げられたようです。体育祭は新校舎が落成された昭和27年に始まりました。その後は秋季大運動会という名前前で昭和35年まで行われたようです。部活動においては、昭和31年のバレー部の県知事杯優勝、昭和33年

の槍投げでの国体出場、昭和36年の吹奏楽中国地区大会優勝、昭和37年第1回中国吹奏楽祭優勝、全国大会出場と吹奏楽部の活躍が目立つ年代でした。

続く昭和40年代では、昭和42年のラグビー部の中国高校ラグビー大会出場、県大会優勝とラグビー部の活躍が目立ちます。学校行事では昭和43年には校内マラソン大会、昭和44年にはスキー学校、運動会に加えて陸上競技大会も開かれるようになりました。

そして、現在の格致高校でも、学校行事も少しずつ変わっていきましたが、学校行事は生徒同士、生徒と教員がお互い親しむ場として今も大切にしております。昨年は球技大会に私も出場させていただきました、ソフトボールで生徒のチームと対戦し楽しみました。生徒と教員がお互いに尊敬し親しみながら活気のある学校生活を送ることが本校の伝統です。この伝統を守り、さらに発展させて「県北に格致在り」と言われる学校にしていきたく思います。

今年もご支援  
もご支  
援  
お願  
い  
いた  
し  
ま  
す。



どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

## ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応  
八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: [nisitani@h-soken.com](mailto:nisitani@h-soken.com)

## 中田税務会計事務所

税理士

中田 毅

昭和39年卒

埼玉県狭山市下奥富737-5

TEL.FAX. 0429-53-9240

# ご挨拶

広島県立庄原格致高校同窓会会長

藤光 有



東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動に格別のご支援並びにご協力を頂き深謝いたしますとともに厚くお礼を申し上げます。

庄原格致高校から時宜に適した広報誌「格物致知」(<http://www.shobarakakuchi-hiroshima-c.ed.jp>)が届きます。

コロナ禍が続く、なかなか学校行事に参加することができない昨今です。学校の行事(現況)と生徒(後輩)達の元気な様子が伺える学校通信を毎回楽しみに読んでいます。

その紙面に5月18日(水)に広島県高等学校総合体育大会壮行式が垣懐の園で行われ、今年度は六つの部活動「陸上部、卓球部(男女)、バトミントン部、ソフトテニス部(男女)、バスケットボール部(男女)、剣道部」から96名が出場しますが、

その激励の様子を伝える記事がありました。

コロナ禍で大変厳しい、また制限された環境での部活動であったでしょうし、いろいろな制約が予想される県総体になるであろうと思いますが、生徒会長の「最後まであきらめず、格致生らしく一生懸命にプレーしてください。庄原格致高校全員で皆さんを応援しています。」との激励に対し、選手代表の3年生溝邊大稀君は「悔いのないプレーをするのはもちろん、試合を楽しむことに心がけ、全身全霊をかけて戦い抜くことを誓います。」と決意表明をしています。

きつと、出場される選手の方々も応援される生徒の皆さんも青春の大きな思い出になる有意義な大会になることでしょう。実は、県総体には私にも思い出があります。昭和40年(1965年)年卒ですので、もう半世紀以上前のことになりましたが、第17回県総体に軟式野球部の一員として参加しました。会場は尾道商業高校グラウンドです。予想以上に勝ちすぎて旅館代が足らなくなったことが忘れられません。

さて、湯崎英彦広島県知事は、政策として「教育県で学び将来の夢の実現」と「本県高等教育の更なる魅力向上に向けて高等教育の環境整備」を掲げています。

その中で、県北地域の高等学校に

あつては生徒数が2年連続で80人を下回る学校があり、県教委は統廃合や再編に踏み切る目安としています。中山間地域では少子化により地域の中学卒業生は減少し、高校入学者の増加につながる確かな方策も見いだせない状況にあり、地元住民は学校存続に危機感を抱いています。この状況は母校にも当てはまり、しつかり先を見据えた対策が必要なのではと、憂慮しています。

終わりになりますが、先般臨時役員会を開催し「今年度定例総会・懇親会」などについて協議しました。その結果は次の通りです。

・定例総会及び懇親会は従前どおり実施する。

実施予定日11月5日(土)とし、コロナ禍の状況推移を注視するとともに新型コロナウイルス感染防止に十分な対策を講じ安全な行事の運営に留意する。

・今回の同窓会報27号は、昨年同様26号会報協力金納入者(発送時点)を対象に郵送する。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

これから酷暑の季節を迎えますが、東京庄原格致会の益々のご隆盛と皆様方に置かれましてはご健康に十分留意され、更にご活躍頂きますことを祈念して挨拶いたします。

(令和4年6月15日記)



## 二階堂調剤薬局グループ

二階堂調剤薬局  
二階堂調剤薬局ときわ台店  
まへの薬局北口店  
まへの薬局おおたかの森店

代表取締役 薬剤師  
石井 美佐子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21  
TEL 03-3958-9955





1988	昭和63	3月15日 / 特別教室（更衣室、図書館、選択室等）大幅改修	9月1日 / 「会員名簿」改定版発行 10月28日 / 第6回総会・懇親会の会場を山水楼に変えて開催		3月13日 / 世界最長の青函トンネル開通（54km） 4月10日 / 瀬戸大橋が開通（児島～坂出ルート）
1987	昭和62	11月30日 / 自転車置場新設			4月1日 / 国鉄分割・民営化、JRスタート
1986	昭和61				4月26日 / チェルノブイリ原発事故
1985	昭和60			6月 / 「倉田百三ひろば」が完成し、百三文学碑を除幕	3月16日 / 科学万博（つくば博）開幕 4月1日 / 日本電信電話会社（NTT）、日本たばこ産業会社発足
1984	昭和59	10月1日 / 管理棟新築落成	6月8日 / 第2回総会懇親会を「中野サンプラザ」で開催		6月30日 / 厚生省世界「長寿国宣言」（平均年齢男性74.2歳 女性79.78歳）
1983	昭和58	1月12日 / 特別教室（理科、視聴覚）新築落成	3月1日 / 「会員名簿」初版発行	3月 / 中国自動車道全線開通 10月22日 / 庄原グランドホテルがオープン	4月15日 / 東京ディスプレイランド開園
1982	昭和57	9月24日 / 創立85周年記念式典	11月24日 / 大同信用金庫会議室で第一回総会・懇親会が開かれ「東京格致会」が発足、会則を決める 初代の名誉会長に三上英雄、会長に上原弘衛が就任		6月27日 / 東北新幹線開業（大宮～盛岡） 11月15日 / 上越新幹線開業（大宮～新潟）
1981	昭和56	11月16日 / L1設置完成		11月20日 / 第1回庄原よいこ祭始まる	
1980	昭和55	3月31日 / 口和分校閉校		10月6日 / 広島県経営研修農場を改組して広島県農業者大学校として発足	5月25日 / 韓国で光州事件起こる 9月22日 / イラン・イラク戦争勃発
1979	昭和54	2月14日 / 特別教室（家庭科3教室）新築落成	新名簿作成等の東京格致会発足の準備が始まる	7月 / ショッピングセンター「ジョイフルながえがオープン」	1月13日 / 国立大学初の共通二次試験
1978	昭和53	3月22日 / 普通教室（12教室）新築落成		10月20日 / 県道庄原新市線磐の谷にバイパス開通。田の平・須川にトンネル（現国道432号線）が開通	5月20日 / 新東京国際空港（成田）開港
1977	昭和52				11月15日 / 新潟市で横田めぐみさん行方不明
1976	昭和51	3月26日 / 生徒ホール（格致会館）新築落成 4月8日 / 普通教室（第7校舎、3教室）新築落成		5月 / 庄原赤十字病院が改築落成（165床に） 10月10日 / 庄原カントリークラブが営業開始	2月4日 / 米国でロッキード事件が明るみに
1975	昭和50				3月10日 / 新幹線博多まで開通
1974	昭和49	3月31日 / プール及び付属室完成			
1973	昭和48				
1972	昭和47			11月 / 中国自動車道建設起工式（国兼池湖畔）	5月15日 / 沖縄施政権返還 9月29日 / 日中国交正常化
1971	昭和46			3月 / 芸備線で蒸気機関車運転廃止	
1970	昭和45	12月31日 / 特別教室（第3校舎）新築落成		4月 / 庄原中学校校舎が完成し、市内7中学校が統合 5月1日 / 過疎地域対策緊急措置法に基づき、庄原市などが過疎地域に指定	3月14日 / 日本万国博覧会開幕（77カ国参加）
1969	昭和44			12月 / 広島県庄原合同庁舎開設	5月26日 / 東名高速道路全線開通

母校の歴史

東京庄原格致会の歩み

庄原市の変遷

日本・世界の動き







上野公園

### 現在の庄原市



### 旧庄原市



七塚原牧場

### 川柳の広場

モデルナは嫌とも言えず三回目  
渡邊千草 (昭和三十八年卒)

モデルナがいいと信じましょう  
妻の顔マスクで隠し若く見え  
塚原通彦 (昭和三十八年卒)

マスクを取らない理由が分かりました  
母のため付けた手すりがい助  
花田和教 (昭和四十年卒)

いつの間にか歳をとりますね  
コロナ禍でいつ開けるか格致会  
助政千尋 (昭和四十年卒)

みんなの顔が懐かしい  
白内障手術で急に歳を取り  
武廣巖 (昭和四十八年卒)

鏡の中に老人が現れてシヨック

- (参考文献)
- 1 庄原格致高等学校「学校要覧」
  - 2 「東京庄原格致会 会報」創刊号
  - 3 庄原市役所HP「庄原市の沿革」・「庄原市の概要」・「広報しようばら」
  - 4 庄原市の歴史 (資料編) 庄原市 平成16年8月発行
  - 5 「広報しようばら」で読む庄原50年の歩み シンセイアート (株) 出版部
  - 6 「縁 えにし80 大竹美喜」80年の歩み 大竹さんの傘寿を祝う会 発行
  - 7 庄原市税務課
- これらの文献の提供をいただいた皆様、また庄原市役所 行政管理課を窓口として各種情報提供をいただいた各課の皆様、厚く御礼申し上げます。

食彩麗しようばら

## ゆめさくら

庄原のお土産は、「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！  
贈答用には庄原のブランド牛「比婆牛」が人気です！！

〒727-0004 広島県庄原市新庄町291-1  
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422  
〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま  
代表取締役 奥井 智裕 (昭和57年卒)

庄原ICから車で3分。  
丘の上の温泉ホテル

運営会社 (株) サンヒルズ庄原  
社長 安部 隆弘 昭和63年卒

2022年4月1日オープン!

桜花の郷  
ラ・フォーレ庄原  
ご予約・お問合せは  
☎(0824) 73-1800

〒727-0004 広島県庄原市新庄町5281-1 FAX 0824-73-0100

# 庄原の民誌

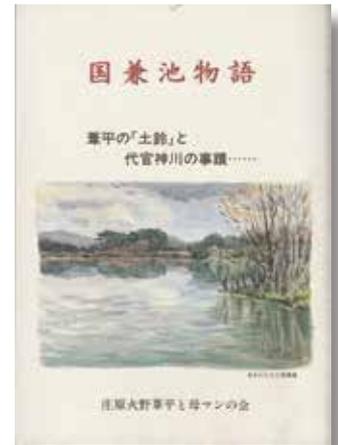
## 「国さんと兼さん」の物語

昭和五十一年卒 赤川 仁洋



庄原市中本町で、「どら書房」を経営  
本と地域の情報誌「県北どらくろあ」を毎月発行

国営備北丘陵公園内にある「国兼池」には、ある伝説がある。正保三年（一六四六年）に創設されたという灌漑用の溜池は、毎年のように大水で堤防が崩れていた。梅雨が近づき、堤防の改修工事を急ぐ村人たちの前に旅の僧が現れ、「土手の完成には、若い乙女のいけにえが必要じゃ」と言い残して去って行った。苦悩する村人たちの前に、庄屋の美人姉妹が現れる。お国は二十一歳、お兼は十九歳。「どうぞ、私たちを人柱に立ててください」。庄屋の父親を説き伏せ、ほほえみを浮かべながら、手を取り合って堤防の穴の中に入って行く。二人の最後の願いで、竹竿が堤防の上に立てられた。先端からゆらゆらと線香の煙が立ち昇る。その煙が絶えたとき、二人の命も絶えるのである。



「庄屋様のお嬢様を無駄死にさせでは申し訳ない」、村人たちは必死の力で工事を進めた。そして七日後、雲をあかね色に染めて太陽がしずんで行く頃、線香の煙がスーッと空に消えた。村人たちは出来上がったばかりの堤防に土下座して、いつまでも立ち去ることができずに泣き伏していた。

それから誰言うことなくこの池のことを「国兼池」と呼ぶようになった。しばらくして、黒と赤の大きな鯉が二匹、連れだつて泳いでいる姿が見られるようになり、人柱になった姉妹の生まれ変わりだと、村人たちは大切に見守ったという話である。

庄原の市街地とその周辺の耕地は、西城川を見下ろす高台に位置している。西城川を灌漑に利用することができないので、人工の溜池が重要な役割を担っていて、人柱伝説も生まれたと推察される。ちなみに、桜の名所として有名な上野池も人工

池である。

わたしは、母親の介護のために四十代の半ばで東京から帰郷、定年を迎える年齢が近づいて、薬局だった実家を改装して古本屋を始めた。老後の道楽だと自認してどら書房、思いのほか経営は順調で、月刊のミニコミ誌「県北どらくろあ」も七年目に入っている。

県北の過疎地には珍しい古本屋なので、いろんな本が集まってくる。地元で出版された本も多く、平成七年に発行された「国兼池物語」もその一つ。「庄原火野葦平と母マンの会」が編纂した本で、芥川賞作家の火野葦平の母親は、庄原市峰田町の出身である。冒頭の火野葦平の「土鈴」は、幕末に恵蘇郡の番組（代官）として国兼池の嵩上げ工事を行った神川平助を題材とした名短編、庄原の歴史小説である。

わたしにとっても国兼池は思い入れが深い。中学、高校を祖母の家で暮らしたわたしは、歩いて十五分ほどの国兼池によく散歩に出かけた。林に囲まれて日当りも悪く、陰鬱な冷気が漂っていたが、思春期で心を真っ赤に腫らした文学少年にとつては居心地の良い場所だった。釣り人の姿を一人も見かけなかったが、後年、国さん兼さんの物語を知って納得した。残念ながら、黒と赤の大きな鯉は見えていない。

# 高校時代の思い出

昭和三十五年卒 積山 弘佳



私はすでに81歳を過ぎ、直近の記憶は忘れても、幼少期から高校時代の記憶は残って年月を重ねるごとに、輝きを増す思い出があるという事に気づいております。

口南中学の出身で昭和32年春の高校進学に当たり、生活圏の三次に行くか、口南には庄原高校の分校があり勧められました。長男でもない私は1年でも早く自立したいと思い、少し遠くでも庄原高校を受ける事になりました。受験番号が1番で非常に緊張しましたが、口南中学からは男性ばかり普通科5名と畜産科2名が受験し全員希望通り合格しました。

制服と白線2本入った帽子を新調し、父に自転車を買ってもらい通学する事に成りました。その頃はまた車社会で無く、砂利道を永田から濁川・門田分かれ川手を通り・西城川



口南中学出身者

上段左から/柏木さん、吉村さん、平岡さん 下段左から/上田さん、折口さん、横山

に架かる庄原大橋を渡り市内を通つて約13キロの道のりを大雪以外は毎日自転車通勤しました。

通学路の思い出はいろいろありますが、雨の日トラックが正面から来た時、片足を道路の側面に掛けた瞬間、植田に落ち全身泥だらけになり西城川で身体や洋服を洗い乾かないまま授業を受けた事、道中の家で雨宿りさせて頂き、お水や秋には柿を頂き大変お世話になりました。

1年生ではC組で寿山先生のクラスになり学友の多くが市内や近郊の出身で垢抜けて活発で聡明に感じました。

運動部の部活は、短距離には自信がありましたので、顧問の堀江先生

の陸上部に入部しました。皆さんそれぞれ種目の達人ばかりで、特に横山君には短距離では全く歯が立たず、向原高校での新人戦には三段跳びと幅跳びに出場し入賞はしましたが、遅くまで練習も出来ず退部しました。

また、沖川・西村・野田先輩と有馬・原田先生の勧めもあり文化部では生物班に入り泊まりがけて広島大学向島臨海研究所に行き、生物の多様性や発生と進化を学びました。

また、1年生の時にクラスの学友達と帝釈峡にキャンプに行きました。生活を共にして懇親を深め、鍾乳洞や自然の壮大な景色には感動しました。

臨海学校は山口県光市室積海水浴場に行き海で泳ぐのは初めてでしたが、遠泳では一人の落ちこぼれも無く完泳しました。やはり西城川や国兼川その支流、上野池やため池で泳ぎ育った学友達だと感心しました。友人達は勉強が出来きて2年生で大半はD・E組に変わりましたが私は1年から3年生までC組でした。

修学旅行は関東地方で箱根、江ノ島、鎌倉、日光、東京でした。自然・歴史・都市の建造物や機能の大きさに感動しました。一番の印象は、浅草国際劇場で松竹歌劇団のショーを観に行き、美しいお姉さん達が全員乱れず足を高く上げ官能的なダンスを観て感動しました。これを機に東



関東地区35年卒業親会

左から八谷さん、吉岡さん、光鳥さん、田淵さん、横山、若林(旧姓伊藤)さん

京に出たいという思いが募り、チャンスがありましたので上京しました。

貴重な三年間を、本来は学校での本業は勉強ですが、予習も復習もせず、親は成績の事で一喜一憂せず、自分のやりたい事をやらせてくれました。おかげで高校時代の三年間は、生きる為の忍耐力・社会を生き抜く豊かな心・人間関係と協調性、自己管理能力を教えて頂き、私の人生においてかけがえのない高校生活でした。学力の遅れは東京に出てから昼間は働き、夜に代々木学院の予備校に通い高校時代の学力を少し取り戻しました。

東京では東京庄原格致会に入り先

輩や学友、後輩達と出会い、飲み会や旅行会・ゴルフなどに参加して楽しく過ごしておりました。昨今のコロナ禍では、電話やライン等で現況や昔話に花を咲かせて居ります。

昭和三十八年 家政科卒

渡邊 千草(旧姓岡田)



川西町出身、三年間汽車通学、途中より気動車に変わりました。入学時は庄原高校生活科でした。四月上野公園で生徒会の歓迎会が有り、吹奏楽部の演奏が素晴らしく、桜も綺麗でした。七月山口県光市へ臨海学校に行き、真っ黒に日焼けしました。最終日に遠泳大会が有り無事完泳出来ました。ボートからの掛け声に励まされ遙か沖迄の遠泳、自分でも良く泳いだものと思います。三学期には予餞会が行われ、クラス毎の余興で三年生をお送りしました。私たちのクラスは「白波五人男」「湯島の白梅」「銭ばい」橋幸夫、こまどり姉妹、松島アキラの物まね。それぞ



門田先生は府中市からのご出席で私は卒業後初めての出席。  
中央 門田先生、前列左から三人目が私です。

れ衣裳は各自持参で髪型着付け等はお互い手伝って賑やかに演技や歌を披露したものです。

二年生の四月に庄原格致高校家政科に変わりましたが、授業は今迄の校舎でした。二年生の秋に三泊四日の修学旅行、初めての長い列車の旅でした。江ノ島水族館のイルカショージャンプの水しぶきやイルカの大きさに驚きました。華厳の滝は濃霧で全然見えなくて音だけで残念でした。東京タワーに昇り、友達三人で階段を歩いて降り始めましたが、降りても降りてもたどり着かず、着いた時には足がガクガクで大笑いでした。

三年生の四月に現在の校舎に引越しました。各自椅子を持って徒歩での引越でした。当時未だ体育館は無く、校庭の廻りにはお茶の木が植えて有り広々と見えました。新校舎は木の香りがよく、温か味を感じました。

体育祭では吉岡先生の指導で白虎隊を踊りました。教室の仕切り板を外しての卒業式、卒業証書はクラス代表が受けて教室で各位に渡されました。授業は洋裁和裁調理実習が好きでした。

卒業後は市内に就職して二十三歳で結婚して上京しました。主人とは高校時代に知り合い、七年間のお付き合いでした。一男一女に恵まれ、それぞれ結婚して孫五人です。趣味を楽しみながら静かな日々です。

家政科で教わった調理実習は現在も大いに役立つています。料理は下手ですが、台所で工夫して作るのが好きです。息子夫婦が近くに住んで居て、孫のリクエストで作って居けるのも楽しみの一つです。以前は孫と一緒に作り楽しかったのですが、コロナ禍で出来なくなり残念です。

高校時代に沢山のお友達が出来、今でも交流が有ります。ラインや電話等で懐かしい思い出話に時間が経つのも忘れていません。いつの日にかお友達に会えるのを楽しみにしている今日この頃です。

# お薬相談

昭和四十八年卒 石井 美佐子



薬剤師となって45年。病院勤務を経て調剤薬局を設立しました。薬剤師として患者さんと直接話をして薬を手渡ししたいという思いからでした。当時、調剤薬局は珍しく患者さんもどう利用してよいか分からなかったのだと思いますが、自分が思っていた様には相談してくれる人がいなくて悩んだものです。

皆さんは薬剤師を上手に使ってまつか。多分初めて薬局を訪れ処方箋を出す時に「これに記入お願いします」と質問票を渡されると思います。病院でも書いたのに又同じ事を書くの？意味あるの？と思う方もいますよね。更に「お薬手帳はありますか」と言われます。でもこれが大事なんです。薬剤師は、この二つの情報をもとに処方箋に書いてある薬が患者さんに適しているかどうかを判断し疑問に思う事がある時は処方医に問

い合わせをして、薬の変更をしても良かったり、薬剤量を変えてもらったりします。

薬は病気を治す物ですが腎臓、肝臓の機能が落ちていたり体に悪い影響を与える場合があります。例えば糖尿病の薬を飲んでる記録があれば腎臓が弱っているかもと考えます。また、ただの風邪薬と思っても副作用で命に係わる場合があります。面倒だと思わず些細な症状でもお薬手帳に記録しておいて下さい。そして薬剤師に見せて下さい

薬の飲み方についてですが「食後に飲んで下さい」などと薬剤師に言われますよね。これは用法と言われます。これにも大切な意味があり、



二階堂調剤薬局ときわ台店

守らないと胃をこわしてしまったり、折角飲んでも効かなかったりする事があります。食直前は食事のすぐ前、食前は食事の30分から1時間前まで、食後は食事後30分位まで、食間は食事のおよそ2時間後、空腹時もこれに当たります。薬には腸まで届いて初めて溶けるものもあります。嘔んんだり、カプセルから中身だけを出しりしないでコップ一杯の水でしっかり飲んで下さい。

最後に皆さんにお願いがあります。薬はPTP包装シートと呼ばれる形で渡されます。患者さんの中にはこのシートを一錠づつに切ってしまう方がいらつしやいます。危険です。このまま誤って飲んでしまい胃に穴が開き、救急搬送され手術となる例があります。そんな馬鹿な事する訳ないと思っておりますよ。でも当薬局でも2例ありました。私の薬局では一錠で渡さない様工夫をしているにもかかわらずです。薬袋から出さないで、飲む分だけを出して下さい。そうする事で残りの数が確認出来るので飲み忘れ、今日飲んだかどうかなどが分かりますよ。

年齢と共に薬のお世話になる事が多くなると思います。私の考えでは、誰にでも分かる言葉で丁寧に説明をしてくれる薬剤師さん、分からない質問をされた時は「今、お答え出来ないの調べておきます」と言っただけで後日答えてくれる薬剤師さんが信頼

のおける薬剤師だと思いません。皆さんもそれぞれの考えで自分の『信頼できる薬剤師さん』を見つけて下さい。



落語家 林家ひろ木

(平成十年卒)



あれは忘れもしない。2年前の2月初旬だ。「落語会がキャンセルになった」という仲間や先輩達の声を聞くようになった。その時は、あまり実感が沸かなかった。自分にはキャンセルの電話がまだなかったからだ。いや、キャンセルになる程、仕事が入ってなかったからかもしれない。テレビを付けると、海外から新種のウイルスが発生したという。発生源はコウモリだとか、ネズミだとか、はたまた中国政府の秘密研究機関で作られた人工ウイルスだと

か、スパイ映画さながらの情報まで飛び交っていた。

そして、2月下旬になると、私のところにも例のウイルスが、パスポートもなしに海を越えて忍び寄ってきた。地方公演は軒並み中止に。小さな落語会も延期となり、唯一残されたのは浅草をはじめとする寄席だけとなった。

私は翌月、3月の1日から10日まで浅草演芸ホールで主任を勤めることになっていった。例年なら客席は大賑わい、打ち上げもアハアハアと笑顔いっぱいだった。ウイルスの影響が客席にも如実に表れ始め、嘘のように客席は鎮まり返っていた。空調の音はつきり聞こえる程だった。それでも、飲食店への規制はまだなかった。打ち上げだけは立派なお祭り騒ぎ。トリがご馳走することになっている主任興行を終えた私は、とても寂しかった記憶がある。お客様との別れ、仲間との別れ、お金ちゃんとの別れ、。

その後は、皆様のご存知の通りである。

この2年間、本当にいい迷惑だった。いや、全く良くない迷惑だった。それでも、良いことが二つだけあった。

一つは、英語力の飛躍的な向上である。

クラスター、パンデミック、ロッ

クダウン、ピークアウト、ステイホームなど、英単語が一気に身に付いたのだ。最初は意味が分からなかった。クラスターは学級閉鎖で、パンデミックはパン屋さんの名前かと思っただ。ステイホームに至っては、ホームステイとホームレスとホステスが混ざって区別がつかなかった。しかし今では、コロナ関連だけで英単語帳が作れるくらい詳しくなった。

そして、良かったことの一つ目は、人との絆がはつきりと見えたことだ。

ニュースで「不要不急の外出をお控え下さい」と聞く度に、落語は不要なのか？僕は嫁の扶養なのか？と落ちこんだものだが、そんな中でも、落語会に足を運んで下さるお客様がいたのだ。そう、格致会の皆様がいたのだ。人と人との交わりを絶つたとも言えるウイルスだったが、不思議なことに、そのウイルスが見えなかった糸をはつきりと照らし出してくれたのだ。

まだまだ、マスクが外せない世の中である。また、今後も新種のウイルスが出てくるかもしれない。それでも、母校で生まれた糸は、これからも決して切れないと信じている。それは、庄原から800キロメートルも離れた東京にいても、先輩や同級生が声をかけてくれる事実が証明している。

(おわり)

# 母校だより



## 母校の現状

教頭 橋本 敦盛

同窓会の会員の皆様には、日頃より本校教育活動、また在校生に対し多大なるご支援をいただきまして大変ありがとうございます。

昨年度も新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、臨時休校等の措置をとることがありました。しかし、ICT等を活用して授業課題を発信したり生徒からの質問を受けたりすることで学びを停めることなく継続しました。また、新入生歓迎遠足、格致祭(文化の部)、格致祭(体育の部)、球技大会、修学旅行等のすべての学校行事が感染症対策を講じながら工夫して開催することができたことに、あらためて地域・保護者・生徒・関係者の皆様に感謝いたします。

本校は、明治30年に小田源吉先生



が庄原の若い世代に教育の場を提供することを目的として作られました。この庄原格致高校が、未だに建学の精神を失うことなく、県北の人材育成の中心的な役割を果たしていることを強く感じた年になりました。

昨年度は、「医療・教職コース」が完成年度を迎え、令和4年3月に栄えある一期生を送り出しました。従来の普通科3クラスのうち1クラスを「医療・教職コース」とし、医師・看護師をはじめとする医療従事者や小学校、中学校などの教員を目指す生徒を育成するコースです。本校に入学してくる生徒の傾向として、将来は地元で地域に貢献したい、そのために医療や教育現場で働きたいという希望を持った者が多くいます。その一方で庄原を含む県北では、地



元出身の医療従事者や教育者が減少しています。

新しいコースの設置に対して、広島大学や県立広島大学、庄原市教育委員会、庄原赤十字病院などのご協力をいただき、地域に貢献できる人材を輩出すべく努力しています。また、従来の普通科についても、今まで以上に力をそそぎ地域の担い手となるよう取組を進めています。

さらに、今年度から高等学校の学習指導要領が改定され、1年生より、新しい教育課程で授業を受けています。部活動については、本校では運動部10、文化部6、同好会3の合計19のクラブが日々精力的に活動を行っています。昨年度は、県総合体育大会やインターハイ、文化部の多くの大会がコロナ禍で多くの制約がありました。今年度も多くの部が感染症対策を徹底するなか頑張りを、県総体へ96名の生徒が参加し活躍することができました。5月の時点で延べ322名の生徒が部活動に参加しており、全校生徒のほぼ全員がいずれかのクラブに所属しています。その中でも全国大会の常連として活躍をしているのが、写真部です。令和3年7月31日から開催された第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021に、広島県代表として3名の作品が出品されました。うち1名の作品が、奨励賞を受賞しました。

このように、今年、創立125年を迎える本校は、これまで培ってきた伝統と新しい理念とを兼ね備えた学校づくりに頑張ります。生徒が勉強にクラブ活動に主体的に取り組むことのできる学校を目指したいと考えています。

同窓生の皆様のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。令和3年度進路決定状況

国立大学	28名 (25%)
私立大学	51名 (46%)
短大	2名 (2%)
専門学校	25名 (22%)
就職	5名 (4%)
その他	1名 (1%)

※「医療・教職コース」と「普通コース」とが互いに切磋琢磨するなかで、国立大学へ30名の生徒が合格しました。



# 郷土だより

## カープ号誕生

芸備線にカープ号を走らせる会

会長 児玉節

上野池の桜の木に盆ボリもつき、柔らかな陽射しが降りそそいでいます。

東京庄原格致会の皆様益々ご健勝のことと存じ上げます。

この度は芸備線カープ号誕生のために多額の協賛金や寄付金を賜り誠に



にありがとうございます。これにより昨年11月28日カープ号運行の運びとなりました。運行当日は多くの人々やマスコミの皆様が庄原駅に参集し、盛大なセレモニーが開かれました。これも皆様のカープや芸備線に対する思いが結実し、われわれ会員一同も安堵したところでございます。

カープ号誕生の切っ掛けは、庄原ロータリークラブで「芸備線をたくさんの方が利用するために、何かいい方法がないだろうか」と、話し合ったことからです。

写真家の門脇氏が気動車をカープラッピングしたらどうだろうかと提案しました。

白い雪原の中を、真っ赤な気動車が走る。県北の四季、桜、新緑、ふりそぐ夏の太陽、紅葉、カープ号が走り抜ける。この鮮烈なイメージが頭の中を駆け巡り、とてつもない夢が沸き上がりました。カープ号を作ろう。こうして11名による芸備線にカープ号を走らせる会が誕生したのです。

この夢を実現するために多くの人々が手助けしてくださいました。JR西日本広島支社の皆様、広島東洋カープの皆様、その仲立ちをしてくださった庄原カープ応援隊の皆様、庄原市役所の皆様、DMOさま、庄原まちなか協議会の皆様、そして多方面と粘り強く交渉してくれた芸



備線にカープ号を走らせる会の事務局長の住田です。

このムーブメントが大きく動いたのは、シヨッピーングセンタージョイフルの樽募金や、かぐや姫募金からです。マス

コミの皆様の報道の効果は大変なもので、庄原市や東京庄原格致会の皆様をはじめとする庄原市出身の皆さんや、芸備線・福塩線沿線の皆さんのカープや芸備線に対する愛・思い出・激励など色々な思いに火をつけて、あつという間にカープ号への費用が集まりました。

広島東洋カープ様、カープラッピングのデザイン、カープ若手選手がひと肌も二肌も脱いだ吊り広告のデザイン本当に素晴らしい、多くのマ



スコミや人々の注目を集めることになりました。最後に、これからも芸備線利用の試みが単発で終わりにならないように有機的・系統的に継続するよう、皆様の協力・力添えをよろしくお願ひいたします。

## 同好会だより

東京庄原格致会には、囲碁、バス旅行、ゴルフの同好会がありますが、新型コロナウイルスの影響で、活動がままならない状況です。

バス旅行は、再開のめどはたつていませんし、ゴルフは、コロナの状況を見ながら秋以降の再開を検討していますが、具体的には決まっていません。

その中、囲碁同窓会は、限定的ではありますが、活動を続けています。コロナによる緊急事態宣言中は、常宿の囲碁クラブ「喜楽」が閉店するためここ一年間では2月、3月の月例会はお休みにになり、参加者もコロナ感染を避けるためにお休みになる方もあり少しさみしい感じもありますが毎月熱い戦いを繰り返し続けています。6月には250回の月例会を迎えました。

### 令和3年度東京庄原格致会会計報告

一般会計収支報告書

(自令和3年7月1日~至令和4年6月30日)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	118,085	会報作成費・発送費	260,400
年会費	200,000	幹事会経費	3,250
広告収入	60,000	HP関係経費	2,762
寄付	193,000	当座管理費(会費等振込手数料)	16,535
受取利息(一般)	0	通信費等事務費	10,000
		次期繰越金	278,138
合計	571,085	合計	571,085

特別会計(基金)収支報告書

(自令和3年7月1日~至令和4年6月30日)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	233,115	次期繰越金	258,116
基金	25,000		
受取利息	1		
合計	258,116	合計	258,116

財産目録(令和4年6月30日現在)

(一般勘定)

郵便局口座(年会費振込口座)	23,880
郵便局口座(一般口座)	254,258
合計	278,138

左記のとおり報告致します。

令和4年7月11日

東京庄原格致会

(基金勘定)

郵便局口座	258,116
合計	258,116
総合計	536,254

会長 八谷 英樹

監事 遠藤 靖夫

監事 塚原 通彦

事務局長(会計) 武廣 巖

### 東京庄原格致会役員名簿(令和元年十月二十日)

顧問	室伏 孝一(昭和二五年卒)	副幹事長	石井美佐子(昭和四八年卒)
兼利 卓蔵(昭和二八年卒)	事務局長	武廣 巖(昭和四八年卒)	
渡利 治博(昭和三一年卒)	副事務局長	奥重 秀彦(昭和四七年卒)	
飛谷 安宣(昭和三二年卒)	幹事	西川 進(昭和四八年卒)	
生田八洲紘(昭和三三年卒)		大岩 征子(昭和三七年卒)	
森沢 進(昭和三三年卒)		小池 正之(昭和三八年卒)	
迫田 芳徳(昭和三四年卒)		田淵 統洋(昭和三五年卒)	
田淵 統洋(昭和三五年卒)		積山 弘佳(昭和三五年卒)	
積山 弘佳(昭和三五年卒)		光島 勝馬(昭和三五年卒)	
光島 勝馬(昭和三五年卒)		吉岡 公義(昭和三五年卒)	
吉岡 公義(昭和三五年卒)		会長	八谷 英樹(昭和三五年卒)
八谷 英樹(昭和三五年卒)		副会長	渡邊 千草(昭和三八年卒)
副会長	渡邊 千草(昭和三八年卒)	幹事長	花田 和教(昭和四〇年卒)
幹事長	花田 和教(昭和四〇年卒)	助政	千尋(昭和四〇年卒)
助政	千尋(昭和四〇年卒)	塚原 通彦(昭和三八年卒)	

### 逝去のお知らせ

令和2・3年度に事務局で把握した逝去された会員の方です。

岡田 慶三 昭和二十年卒	八谷 義登 昭和二十年卒	新見 義和 昭和二十年卒	森田 千里 昭和二十年卒	酒井 久幸 昭和二十年卒	和田 志郎 昭和二十年卒	西上 昭 昭和二十年卒	秋山 隆志郎 昭和二十年卒	木山 高美 昭和二十年卒	伊藤 雄輝 昭和二十年卒	新田 晴吾 昭和二十年卒	山根 猛昇 昭和二十年卒	明賀 晃昭 昭和二十年卒	塚原 馨 昭和二十年卒	猫田 勇 昭和二十年卒	前田 えみ子 昭和二十年卒	太田 克枝 昭和二十年卒	福田 繁夫 昭和二十年卒
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	---------------	--------------	--------------

### 編集後記

今年の会報(30号・記念号)は、皆さまからのご寄付のお陰で、全面カラーで4ページ増やして発行することができました。ありがとうございます。

特に4〜9ページには、八谷会長肝入りの「母校・東京庄原格致会・庄原市の変遷等」の年表を入れております。自分の生まれ育った庄原や母校の歴史を見て自分のルーツは庄原にあるのだと改めて感じます。年表作成に当たっては、橋本教頭先生や庄原市役所の皆さんなど多くの方にお世話になりました。ありがとうございます。

青本校長先生からは母校の部活動の歴史を、藤光同窓会長からは、高校総体壮行式などについてご寄稿いただきました。

新企画として、国兼池の民話を、庄原市で古書店を開いておられる赤川さんにお願いました。

高校時代の懐かしい思い出を、積山前会長と渡邊副会長に書いていただきました。

いつも広告を出して頂いている薬剤師の石井さんから、これから益々お世話になる「薬」についてご寄稿いただきました。

落語家の林家ひろ木さんには「絆」についてご寄稿いただきました。当会のHPにも「ひろ木独演会」の様子を掲載しています。

橋本教頭先生から、母校の現状(後輩の活躍の状況)についてお知らせいただきました。

昨年末に運行が始まった芸備線カープ号の誕生経緯について「芸備線にカープ号を走らせる会」の児玉会長からご寄稿いただきました。

ご執筆いただいた皆様ありがとうございます。最後に、カープ頑張れ。サンフレッチェ頑張れ。

(事務局)

デザイン・印刷・ノベルティで  
企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。



株式会社クレスコアースコミュニケーションズ  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町  
2-2-5 CTNビル7F  
TEL 03-5207-5189 FAX 03-5207-5089  
www.cresco-ars.co.jp

「ご寄付ありがとうございました。」  
この一年、次の方々からご寄付いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

木村 貞寧 様 (25年卒)	加藤 勝 様 (37年卒)
室伏 孝一 様 (25年卒)	新山 千樫 様 (37年卒)
藤永 哲治 様 (26年卒)	岡崎 千鶴子 様 (38年卒)
三浦 重造 様 (26年卒)	川野 正江 様 (38年卒)
近保 俊彦 様 (29年卒)	塚原 通彦 様 (38年卒)
近保 幸 様 (34年卒)	平川 智子 様 (38年卒)
岩見 勝義 様 (30年卒)	中野 千草 様 (38年卒)
志木 弘 様 (32年卒)	渡邊 智子 様 (39年卒)
宮内 伸子 様 (32年卒)	田淵 統洋 様 (39年卒)
大竹 京子 様 (33年卒)	桑原 草子 様 (40年卒)
熊原 清 様 (34年卒)	瀬尾 明雄 様 (40年卒)
迫田 芳徳 様 (34年卒)	田中文男 様 (40年卒)
田淵 統洋 様 (35年卒)	平田 タツ子 様 (40年卒)
積山 弘佳 様 (35年卒)	小川 哲二 様 (41年卒)
八谷 英樹 様 (35年卒)	守長 和子 様 (41年卒)
光島 勝馬 様 (35年卒)	新宅 二三 様 (42年卒)
吉岡 公義 様 (35年卒)	佐々木 和之 様 (43年卒)
天野 皓昭 様 (37年卒)	福場 泰蔵 様 (45年卒)
大岩 征子 様 (37年卒)	福場 美知留 様 (45年卒)
	本間 ますみ 様 (49年卒)